

二本松市農業協同組合（JAにほんまつ市）



代表理事組合長	安 田 壽 男	役 員 数	24名
所 在 地	〒964 二本松市 成田町1丁目821-1	理 事	19名（うち常勤 1名）
	☎0243-23-1411	監 事	5名
設 立 年 月 日	昭和39年10月1日	職 員 数	119名（男80名 女39名）
		臨 時	5名

I 地 区 の 概 況

二本松市は県中通り北部に位置し（東経140度26分、北緯37度36分）福島市と郡山市の中間にある。西部は耶麻郡猪苗代町に、北部の一部は福島市に接し、他は安達郡6町村に囲まれた安達地方の中心都市である。（東西21.0km、南北 13.5km、総面積129.71km²）

西に奥羽山系安達太良山(1700m)がそびえ、東は阿武隈高地に属する大小の丘陵山間地帯があり、その中央を南北に貫流する阿武隈川とその支流である杉田川の流域に平坦地が開ける他

は、一帯300m前後の山塊が重畳し、地勢は概して西に高く起伏の強い地帯である。

気候的には阿武隈高地と奥羽山脈とにはさまれた内陸性気候となっている。

年平均気温は12.7度、最高気温34.3度、最低気温-11.4度、年間降水量は1000mm前後で、7月の平均降水量が168mmと最も多い。台風は中心が通ることは少ない。初霜は10月下旬、終霜は5月下旬で桑園、果樹園では被害を受ける度合いが多い。

Ⅱ 50年のあゆみ

1 地区農業の変遷

当市における農家戸数は、昭和35年頃をピークに減少傾向に転じ、専業、第Ⅰ種兼業農家戸数も減少している。反面第Ⅱ種兼業農家戸数は増加し平成2年時では約73%に達している。この傾向は全体の経営耕地面積の推移とも一致している。

作物別変遷

① 水稻 44年に最高1633haあったものが、減反政策等により減り続けてきたが、最近の復田政策により若干の増反がみられる。品種はコシヒカリの76%を中心にひとめぼれ、初星の銘柄米で90%以上を占める「良質米生産地」である。

② 野菜 夏秋きゅうりを中心に地域の基幹作物としての伸びはめざましい。5年度は水稻の不作もあり販売額では米を上回った。又施設化によるきゅうり、ミニトマト等の伸びが著しく地域全体の野菜販売額は20億円を越える。

③ 果樹 構造改善事業により造成されたぶどう団地は定着しなかったが、100年以上の歴史を持つなしを柱にりんご、もも等で約2億円の粗生産額がある。

④ 養蚕・たばこ 米に次ぐ粗生産額があった養蚕は繭価の低迷により大幅な減少を続け、遊休桑園が大きな問題となっている。たばこについては野菜への転換が進んでいる。

⑤ 畜産開拓地を中心とした酪農は、大型専業

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

年次		25	35	40	50	60	2
項目	総農家戸数(戸)	2,825	2,868	2,786	2,580	2,356	2,259
	うち 専業(戸)	1,814	1,554	959	361	175	167
	Ⅰ種兼業(戸)	624	865	1,165	1,192	643	452
	Ⅱ種兼業(戸)	387	449	662	1,027	1,538	1,640
	経営耕地面積(ha)	3,061	3,471	3,453	3,324	3,161	3,126
	うち 田(ha)	1,392	1,434	1,480	1,647	1,636	1,631
	畑(ha)	1,016	1,420	1,379	985	882	952
	樹園地(ha)	652	616	593	692	643	542
	桑園(ha)	181	177	521	613	583	644
収 穫 面 積	稲(ha)	1,330	1,386	1,468	1,478	1,439	1,293
	麦類(ha)	666	806	608	33	4	5
	野菜類(ha)	282	282	192	247	308	259
	うちきゅうり(ha)	16	17	17	60	102	107
	果実類(ha)	37	43	57	78	59	55
	飼料用作物(ha)	34	68	139	367	410	439
	たばこ(ha)	43	38	63	21	17	3
飼育頭羽数	乳用牛(頭)	82	673	1,330	1,065	2,248	2,298
	肉用牛(頭)	1,085	1,377	1,319	1,467	2,007	2,886
	豚(頭)	140	254	1,574	3,262	8,601	10,347
	にわとり(千羽)	5	15	21	35	98	18
	ブロイラー(千羽)				20	62	200

(注) 樹園地は桑園を除く ブロイラーの50年以降は出荷羽数

化が進み定着が見られるものの和牛繁殖、養豚等は減少を続け日本農業の縮図的形態をしめす。

⑥ その他 最近成長の著しいものに花（スプレー菊）菌床しいたけがあり、産地としての評価は高いが、資金・技術の点で拮抗りは大きくない。

2 経営の推移

昭和22年農協法の公布により、翌23年に合併前の1町5か村に単位農協が設立された。

その後、それぞれ幾多の変遷を経て、39年に合併し正組合員2372戸、出資金5900万円の二本松市農業協同組合が誕生した。

「農業生産の振興と地域の発展に寄与する協同活動の展開」をスローガンとして事業展開を図り、40年度の販売事業では、取扱高5億円余の81%が米であったものが、その後の米の生産調整、ソ菜の振興策等により平成5年度の取扱高は27億円、うちソ菜は12億4000万円と米を超越して第1位となった。その他の事業についても、購買取扱高は6.5倍、貯金残高は5億円から181億円へと36倍に、貸付金残高は4億円から76億円へと19倍にそれぞれ事業伸長をみた。

このような生産活動に対する取組の反面、50年代初頭からの事業拡大期における信用事業の展開にあたり、十分な体制の整備がされないままに取組がなされ、巨額の不健全債権を抱えた

図表2 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

年度		24	30	39 (合併時)	40	50	60	5
項目								
正組合員戸数(戸)		2,406	2,698	2,372	2,463	2,459	2,419	2,364
准組合員戸数(戸)		132	162	180	181	361	396	636
資 産	余 裕 金	19,243	25,616	151,985	137,383	1,607,051	3,856,008	11,450,154
	貸 出 金	14,488	84,495	354,438	413,328	3,655,339	6,818,291	7,463,059
	その他流動資産	5,450	33,658	103,234	145,909	1,168,861	1,094,428	972,003
	固 定 資 産	3,935	22,778	47,213	50,009	271,610	862,251	1,137,857
	外 部 出 資	309	3,839	11,369	12,033	43,909	115,153	183,778
負 債 及 び 資 本	貯 金	38,031	109,735	432,973	514,239	5,018,138	10,013,315	18,173,583
	借 入 金	5,017	33,687	125,625	126,460	351,908	929,421	483,450
	そ の 他 負 債	27	6,887	43,271	41,546	1,140,980	1,016,602	1,578,750
	出 資 金	1,454	21,631	59,240	65,752	204,548	608,901	854,899
	積 立 金	265	614	6,180	8,598	14,200	171,623	101,375
主 な 事 業 実 績	剰 余 金	-1,369	-2,168	950	2,067	16,996	6,269	14,794
	販 売 取 扱 高	85,628	213,077	253,361	508,285	1,425,952	3,198,779	2,701,314
	うち 米 穀		182,166	231,024	421,747	936,133	1,553,868	1,033,538
	青 果 物		513	5,769	22,993	326,332	863,142	1,291,089
	うちきゅうり					156,311	423,579	720,436
	畜 産 物			16,169	63,319	160,562	775,576	252,026
	そ の 他			399	226	1,861	6,193	124,661
	購 買 取 扱 高	30,913	79,876	64,381	215,989	1,237,729	1,906,123	1,718,953
	うち 生産資材		68,467	57,027	197,710	1,047,046	1,622,098	1,379,197
	生活資材		11,409	7,353	18,279	190,683	284,025	339,756
	長期共済保有高			926	12,187	17,495	114,935	179,631

(注) 合併時は最新合併時の始期 他は年度末 合併以前の年度は合併参加農協の合計

時代があったが、平成元年10月の臨時総代会において整理解消策が決議され、具体的解消を図り、その教訓を生かした経営健全化が進められている。

平成4年「二本松市農協」から「J Aにほんまつ市」に愛称を変更したことにより、より地域に根ざした経営をすすめることとし、J Aグリーンセンターをオープンし組合員の拠りどころとして大きな役割を担っている。

3 農業協同組合の設立と合併

J Aにほんまつ市の前身は、二本松市岳下農業協同組合、石井農業協同組合、二本松市大平農業協同組合、二本松市杉田農業協同組合である。昭和39年10月1日3組合の合併により発足し、同年12月26日二本松市杉田農協の参加によ

り市一円の農協となった。

これらの農協は23年各村の農業会の資産を受け継いで発足した。岳下村には他に岳下村第一農業協同組合があったが29年に解散した。また二本松町農業協同組合、塩沢村農業協同組合も設立されたがそれぞれ32年33年に解散した。これら解散地区については二本松市岳下農協が事業区域を拡大して対応してきた。

4 苦難の道

農業会からの不良資産の引継や戦後農業の経済的基盤の脆弱さから、いずれも苦難の道をたどらざるを得なかった。

岳下地区では、農地解放による地主、小作の対立感情もあって地区内に2つの農協が設立された上に、24年には米倉庫の焼失があり苦しい出発となった。しかし、その後米を中心とした生産活動と堅実な経営により順調な事業展開がなされた。

県経済連の活動に満足しない郡内他農協とともに「安達郡経済連」を組織して事業展開を図った時代もあった。

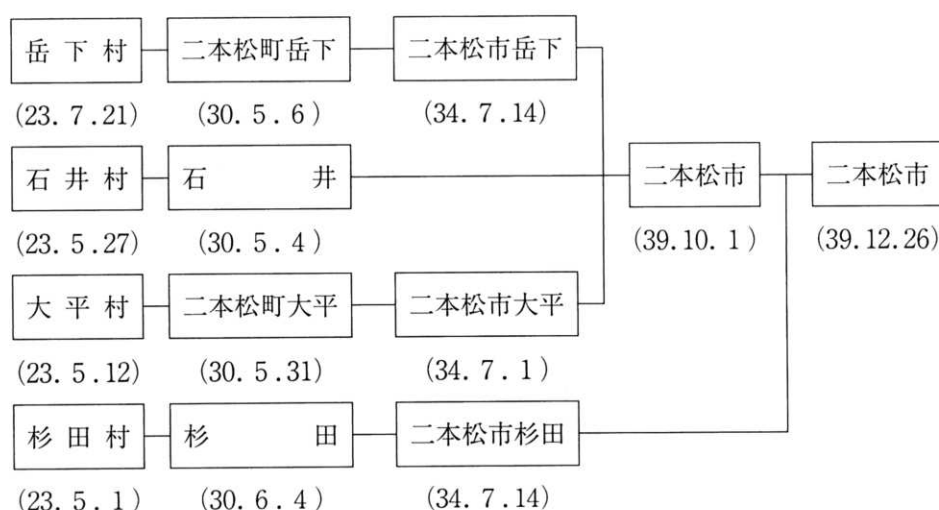
また、塩沢地区は、300戸足らずの小

地区でソ菜を中心とした農業地区のため存立基盤が弱く、経営姿勢にも問題があり不振農協となり解散した。この時生じた『貯払い打ち切り』が「農協」組織に対する不信感を残し、今日なお米の系統外登録、ソ菜の任意組合出荷として事業展開を阻害している。

図表3 合併参加農協の概要

組 合 名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
二本松市岳下	安田 金蔵	1,031	17	33
石 井	村松 一弥	572	10	11
二本松市大平	斎藤喜代治	462	13	9
二本松市杉田	安斎 正一	444	19	13

図表4 合併等の経緯





(岳下村農協倉庫新築 24年)

杉田地区は、米のウエートが高く協同意識も農協の利用度も高い地区であったことから、特に指導者階層に合併不参加の声があり、一步遅れた。しかし、農青連等の活躍により84日遅れの合併参加となった。

石井地区は、養蚕を中心としているものの、経済基盤の弱い地区であり、加えて経営上にも問題があったことから不振組合となり、整備指定組合としての指定支援を受けることとなったが、先人指導者の努力によって再建され、合併への参加となった。

大平地区も養蚕を中心とした純農村地区で、地区内のまとまりは強く指導階層の力もあって組合経営は堅実に取組まれてきた。近年はソ菜振興を通じて農協の存在感を高めている。

5 生産振興事業の展開

昭和39年の市一円の合併以来農業基盤の確立を中心課題とし、良質米の生産や夏秋きゅうりを始めいんげん、チェリートマト、なす等のソ菜生産の振興に取り組んだ結果、平成5年度はソ菜販売額は米を上回るようになった。果樹についてはぶどう、りんご、もも、なし等があるが中でも幸水・豊水を中心としたなしは銘柄産地化してきている。またスプレー菊等の花き類

の販売額も1億円を越え、今後が期待される作物の一つとなっている。

しかし、子豚、肉豚、肉牛、繁殖牛等は輸入自由化の影響を受け苦戦を強いられている。

養蚕は直接扱っていないが、その落ち込みは著しく信用事業や農家経済に大きく影響を及ぼしている。

5年にはJ Aグリーンセンターをオープンし組合員の拠り所として大きな役割を担っている。

6 広域合併への取組

二本松市を含む安達地方における広域合併への取組については、昭和40年代に試みられ失敗した経緯がある。

行政単位の合併実現後、新たな農業情勢に対処するためには広域展開が必要との認識から、47年に合併研究会が設立されて検討協議が重ねられた。この時は、行政区域を越える合併組合となっていた本宮が参加を見送り、二本松市、安達町、玉の井、小浜、岩代町、東和町の6農協の合併をめざしたが、当農協で2/3以上の賛成をわずかの差で得られず成立を見なかった。

17構想に基づく取組については、5年7月に合併研究会設立し、9年3月1日実現を目途に推進中であり、鋭意その実現に努力している。



(農業共進会にて 24年頃)

Ⅲ 年 表

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
23年		37年	
5. 1	杉田村農業協同組合設立	9.12	共済事業表彰（全共連）（大平・杉田）
5. 6	二本松町農業協同組合設立	38年	
5.12	大平村農業協同組合設立	5.30	貯蓄成績優良表彰（農林中金支店長）（杉田）
5.27	石井村農業協同組合設立	7.23	旧市内を区域に加える（岳下）
6.29	岳下村第一農業協同組合設立	6. 6	共済事業表彰（全共連）（石井）
7. 2	塩澤村農業協同組合設立	39年	
7.21	岳下村農業協同組合設立	6.19	共済事業表彰（全共連）（大平）
29年		10. 1	二本松市岳下農協、石井農協、二本松市大平農協合併し二本松市農業協同組合発足
2.26	岳下村第一農協解散	12.26	二本松市杉田農協（解散）合併
.	再建整備の指定を受ける（二本松・塩沢）	40年	
30年		4.25	第1回通常総会開催
1. 1	二本松町、塩沢村、岳下村、杉田村、大平村、石井村が合併して二本松町となる	7.	夏秋きゅうり共販開始
5. 4	石井農業協同組合に名称変更	41年	
5. 6	二本松町岳下農業協同組合に名称変更	3. 8	県ソ菜共販運動優良賞（経済連）
5.31	二本松町大平農業協同組合に名称変更	11. 3	有線放送電話開通式
6. 4	杉田農業協同組合に名称変更	11. 8	県農協大会優良農協表彰（中央会）
9.26	二本松町農協解散	42年	
31年		4.22	塩沢地区農産物集出荷所完成
7.13	共済事業優績表彰（全共連）（杉田）	5.17	肉用繁殖素畜導入事業
32年		5.29	貯金残高7億円突破表彰（信連）
5.31	農薬全利用共計運動表彰（全購連）（大平）		長期共済保有15億円以上表彰（共済連）
	系統利用優秀表彰（経済連）（大平）	5.30	系統利用優秀表彰（経済連）
6.28	共済事業優績表彰（全共連）（岳下）	43年	
33年		2.15	生産増強野菜共販共進会優秀賞受賞
5.30	系統利用優秀表彰（経済連）（杉田）	4.25	有線放送電話公社線接続線増設工事完了
6. 9	二本松町塩沢農協解散	5. 1	二本松市農協青年連盟結成
9.30	整備特別措置法に基づく指定受ける（石井）	5.30	原瀬スピードスプレーヤー庫完成
10. 1	市制施行二本松市となる	44年	
34年		3.24	二本松市農協婦人部大会
7. 1	二本松市大平農業協同組合に名称変更	5.28	貯金残高10億円突破表彰（信連）
7.14	二本松市岳下農業協同組合に名称変更	11.19	石井事業所事務所・農業倉庫完成
7.14	二本松市杉田農業協同組合に名称変更	45年	
35年		2. 2	農協貯金1000億円達成記念優秀賞受賞
6.30	共済事業表彰（全共連）（岳下）	4.18	石井事業所購買倉庫完成
36年		9.30	紺綬褒章受章
4.13	塩沢地区を区域に加え塩沢事業所開設（岳下）	12.29	塩沢事業所資材倉庫増築工事完成
5.29	貯蓄成績優良表彰（農林中金支店長）（杉田）		

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
46年		4.30	有線放送業務終了
2.23	野菜共販体制優秀賞受賞	6.29	要求米価実現農協代表者大会
3.25	杉田事業所農産物集出荷所完成	8.20	第4回農協祭（～21）
3. 4	岳下事業所農産物集出荷所完成	11.18	農協法公布30周年記念特別表彰（中央会）
4.22	ソ菜取扱高1億円達成記念大会	53年	
6. 1	管理・経理関係電算システム導入	8.19	第5回農協祭（～20）
47年		12.26	石井事業所農業倉庫完成
2.22	塩沢事業所事務所新築落成	54年	
	大平事業所野菜集出荷所完成	3.26	石井事業所事務所落成オープン
3.13	石油取扱高優秀賞受賞（全購連）	5. 9	永田野菜集荷所完成
10. 2	塩沢給油所完成	5.23	長期共済保有優績表彰（全共連）
48年		5.28	貯蓄高70億円突破優良賞受賞（信連）
8.23	農協合併促進シンポジウム		系統利用優秀表彰（経済連）
9.28	安達地方農協合併予備契約調印式	6. 2	大雨・降雹 被害甚大
10.12	合併財務確認検査実施	8.25	第6回農協祭（～26）
12.15	合併臨時総会（合併否決）	12.18	農協合併15周年記念大会
49年		55年	
3.31	永田育苗センター完成	1.23	杉田事業所資材倉庫・石井事業所自家用給油所完成
4.23	本所増築工事落成	7.23	L P G自主取扱優良表彰（全農）
	杉田事業所事務所増築工事落成	8.23	第7回農協祭（～24）
5.30	貯金残高40億円突破記念表彰（信連）	12. 3	冷害による天災資金融資（水稻作況 65）
7. 3	二本松市農協婦人部設立総会	12.24	大雪 停電・交通マヒ等被害甚大
7.11	杉田理容所新築落成	56年	
8.24	本所新築記念大会・第1回農協祭	2.24	講演会「80年代の農業・農政を考える」
10. 1	機関紙「農協にほんまつ」創刊	7.14	要求米価実現二本松地区大会
12.26	農協合併10周年記念大会	8. 4	原瀬資材倉庫完成
50年		8.10	信用部門オンラインスタート
8.23	第2回農協祭（～24）	8.22	第8回農協祭（～23）
11.28	大平事業所用地取得	12. 1	台風15号災害資金受付
51年		12.21	大平支所給油所完成
2. 9	「福島米の食味」消費者と意見交換会	57年	
3.12	永田育苗センター倉庫完成	2.13	婦人部・農青連講演会
5.15	組合マーケットオープン	3.17	杉田支所事務所増築工事完成
6.29	二本松地区要求米価実現大会	6.24	新幹線日陰対策陳情
7.30	原瀬農産物集出荷所完成	8.30	第9回農協祭（～31）
8.21	第3回農協祭（～22）	9. 3	財務健全化現地調査指導
10.25	理事会（冷害対策 水稻作況79）	58年	
12.25	天災融資資金取扱	1.30	第1回婦人部初笑い健康まつり
52年		4. 1	塩沢野菜集荷所落成
1.20	ソ菜部設立総会並びに共販10周年大会	5.20	共済事業優績表彰（全共連）
2.23	婦人部・農青連講演会	6.26	県パトロール検査（～27）
	「我が農協、農業の進展をめざして」	8.20	第10回農協祭（～21）
4.13	大平事業所事務所新築落成	12.14	「ふるさと四季の香り」第1回発送

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
59年		10.15	臨時総代会（不健全債権解消対策）
2.15	大担山予冷库完成	11.29	年金友の会2000件達成記念大会
4.10	農業機械化銀行設立総会	12. 9	職員OB会結成総会
4.30	大担山造成工事完了	12.16	農協合併25周年記念大会
7.20	農協年金友の会設立総会	2年	
8. 5	第1回水稻航空防除実施	8. 7	本所外装工事完成
8.25	第11回農協祭（～26）	8.25	第17回農協祭（～26）
9. 8	第1回県北農協ゲートボール大会大平チーム優勝	11. 8	農協ゴルフクラブ第1回組合長杯コンペ
10.20	杉田野菜集荷所完成	3年	
11. 5	岳下支所A T M稼働開始	2.24	年金友の会1500名達成記念大会
12. 1	農協合併20周年記念大会		第1回ほんと塾「食・農・健康を考える」
60年		3.11	長期共済億友会設立総会
5.28	系統利用優秀表彰（経済連）	6.23	第2回ほんと塾「米の消費を考える」
6.10	杉田支所A T M稼働開始	7.12	米消費拡大5000戸個別訪問運動
8.24	第12回農協祭（～25）	8.13	原瀬集荷所増改築工事完成
9.10	杉田ライスセンター完成	8.19	第1回チビッコフアンタジー（東京デズニーランド）
10. 9	農協年金友の会第1回ゲートボール大会	8.24	第18回農協祭（～25）
61年		10.16	低温農業倉庫完成
2.15	経営組織検討会（総代制について）	12.15	第3回ほんと塾「水・暮らしとのかかわり」
3.18	請求による県条例検査（～22）	4年	
8. 5	水害発生	2.21	ソ菜販売10億円突破記念大会
8.23	第13回農協祭（～24）	4. 1	J A出発式
11.28	農協ソ菜部結成10周年記念大会	5.27	系統利用優秀表彰（J A福島経済連）
12. 2	市役所A T Mコーナーオープン	8.22	第19回J Aまつり（～23）
62年		11.23	第4回ほんと塾「生き方を考える」
7. 7	杉田箕輪野菜集荷所完成	12.28	有機低農薬栽培米による醸造開始
8.22	第14回農協祭（～23）	5年	
9. 5	購買オンラインシステム稼働	3. 6	第5回ほんと塾「ほんものの食べ物を求めて」
11.26	年金友の会1000名突破記念大会	3.27	第1回共栄会総会（J A利用事業者の集）
63年		4.12	J A食材センター宅配開始
1.14	農協組織整備検討委員会答申	4.24	J A「グリーンセンターにほんまつ」オープン
1.26	地域農業振興計画樹立部落座談会	5.20	共済事業優績表彰（J A全共連）
3. 6	二本松市ソ菜振興大会	7.30	安達地方合併研究会設立総会
5.19	共済事業優績表彰（全共連）	8.21	第20回J Aまつり（～22）
8.20	第15回農協祭（～21）	11.27	安達地方合併役職員研修会
9.26	総代制に移行（初代総代504名決定）	12. 5	「食・農を考える」フォーラム
元年		12.14	冷害による天災資金融資（水稻作況66）
4.18	第1回通常総代会		
8.19	第16回農協祭（～20）		
8.25	果実選果場増改築完成		

IV 資 料

(平成5年度末現在)

1 組 合 員

()は戸数

正 組 合 員		准 組 合 員		合 計	
個 人	法人	個 人	団体	個 人	法・団
2,726 (2,364)	6	714 (636)	15	3,440 (3,000)	21

2 役員及び参事

代表理事組合長	安 田 壽 男	理事	渡 辺 長 男
代表理事専務	根 本 重 守	理事	田 卷 久 正
理事	三津間 馨	理事	鈴 木 新 美
理事	小 沢 貢 初	理事	佐 藤 貞 貞
理事	斎 藤 正 則	理事	今 福 松 司
理事	菅 野 健 一	理事	武 田 義 盛
理事	菅 野 栄 作	代表監事	渡 辺 馨
理事	大 内 金 夫	監事	日下部 寿 雄
理事	今 江 文 夫	監事	阿 部 高 明
理事	松 本 一 郎	監事	鈴 木 賢 一
理事	本 田 一 郎	監事	斎 藤 文 代
理事	国 分 一 郎	参事	渡 辺 孝 次
理事	鈴 木 利 英		

3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
80	39	119	10	2

4 協力組織

名 称	代 表 者	会員数
農事組合長会	大 内 貞 治	97
青年連盟	浅 川 吉 寿	220
婦人部	高 宮 ア ヤ	1,334
若妻連絡協議会	斎 藤 い ね	130
年金友の会	菅 野 嘉 一	1,741
長期共済友の会	渡 辺 文 衛	440
青色申告会	渡 辺 伝 一	54
共栄会	斎 藤 賢 一	67
職員OB会	亀 山 次 男	55

5 生産部会

名 称	代 表 者	会員数
水稻部	斎 藤 司	50
そさい部	渡 辺 長 男	370
果樹部	竹 花 洋 吉	87
養豚部	市 川 善 一	25
養豚肥育部	鈴 木 賢 一	5
花き部	渡 辺 馨	21
有機農業研究会	大 内 信 一	12
山菜生産研究会	渡 辺 一 三	17

6 主な施設

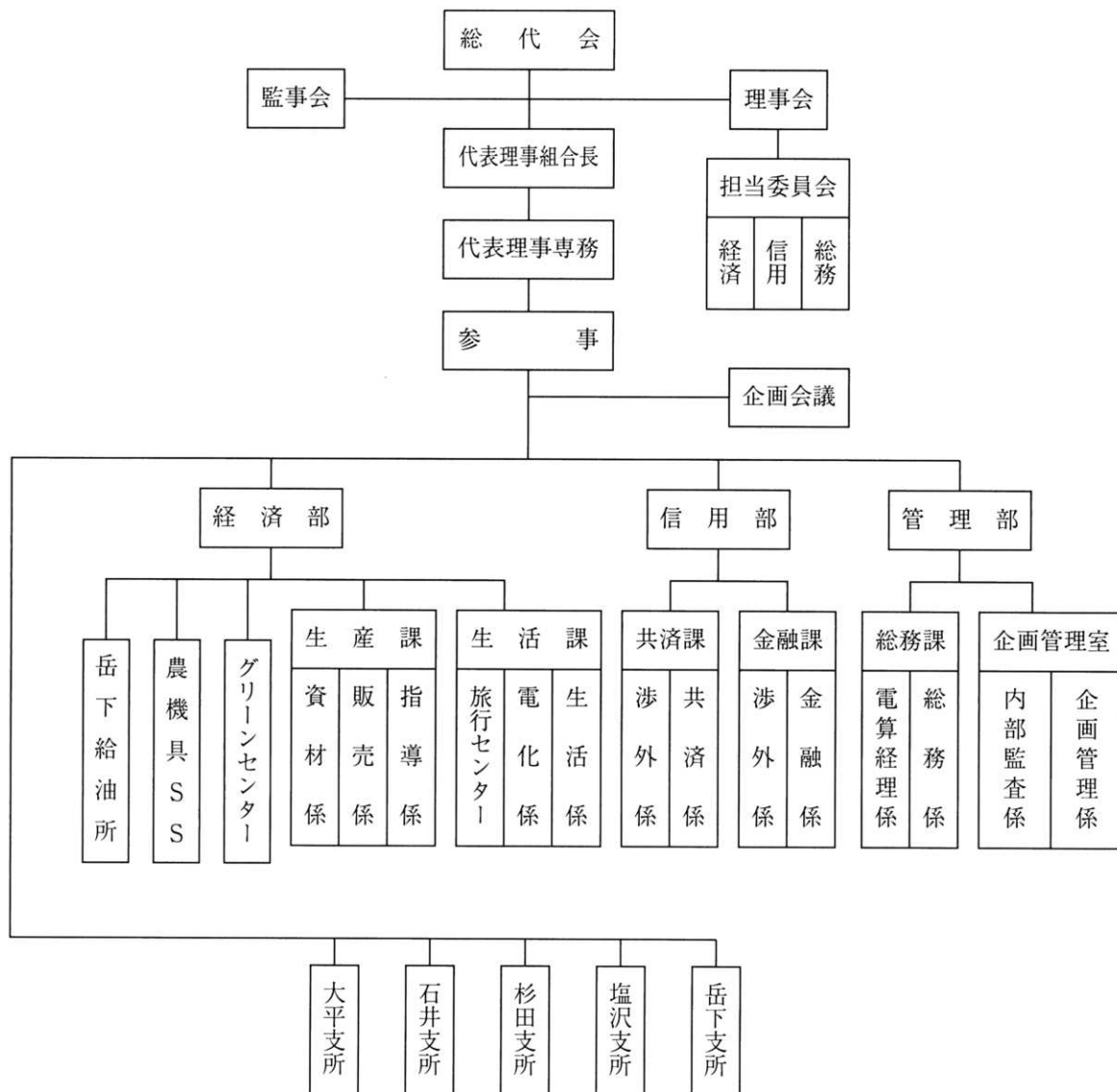
名 称	所 在 地
本 所	成田町1-821-1
岳下支所	〃
塩沢 〃	塩沢町1-170-2
杉田 〃	中江158
石井 〃	平石町64-1
太平 〃	太子堂255
グリーンセンター	
にほんまつ	向原26-1
農機具サービスセンター	〃
Aコープにほんまつ店	若宮1-362
永田育苗センター	馬保内177-1
ミニライスセンター	西町260
果実共同選果場	成田町1-821-1
低温農業倉庫	向原190
岳下給油所	成田町1-823
予冷库・集荷場	向原26-2
杉田理容所	中江159

7 歴代組合長・常勤理事・参事

組 合 長	専 務 理 事
39～49	安田 金蔵
49～61	渡辺 喜悦
61～	安田 壽男

参 事				
39～46	斎藤	喜三	元～4	酒井 久夫
47～60	阿部	貢	4～	渡辺 孝次
60～元	渡辺	弘		

8 経営管理機構



9 合併前の歴代組合長

二本松市岳下農協

23～35	斎藤 齋	35～39	安田 金蔵
-------	------	-------	-------

石井農協

23～24	菅野 吉治	26～32	大内 延泰
24～26	高橋 長誠	32～39	村松 一弥

二本松市大平農協

23～24	高橋市四郎	28～30	武藤 弥
24～26	国分 平	30～38	渡辺 甚七
26～28	佐藤傳四郎	38～39	斎藤喜代治

二本松市杉田農協

23～29	安斎 傳一	37～39	安斎 正一
29～37	渡辺 武治		